

2022年度芦屋市環境フェスタ 展示予定標本の解説（部分）

①ストロマトライト

(20億年前) ボリビア産・縞模様、(1億年前) モロッコ産・渦巻き状  
ラン藻類が作った石。海中で光合成を行い、酸素を放出しました。地球大気へ。



②サンヨウチュウ (5億年前)

パラドキシテス (大きい方)、ファコプス (黒い方)  
世界最大の三葉虫テラタスピス (レプリカ)  
カブトガニやダンゴムシに似た節足動物で、海に住んでいました。



③シダ植物 (アメリカ産・3億年前)

世界の炭田はこの時代



④アンモナイト（1億～2億年前）

巻貝ではなく、イカやタコの親せきです。

大きなものは2mにもなります。

現在生きているオウムガイによく似ています。



⑤ナウマン象の象牙（2万～30万年前）

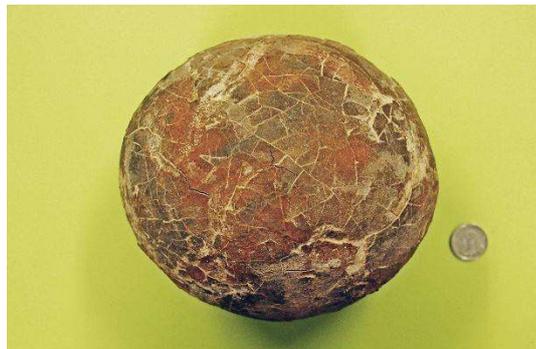
瀬戸内海で漁船の網にかかって発見されたもので、貝殻がついています。

氷河期の日本は海面が200mも下がって瀬戸内海は陸地化していました。



⑥マンモスの背骨（イギリスの北海で漁船の網にかかりました。1万～40万年前）

⑦恐竜の卵の化石（中国・8千万年前）ハドロサウルス



⑧恐竜の糞の化石（アメリカ・1億～2億年前）

長い間に石英（水晶と同じ）成分と入れ替わって宝石になっています。

⑨魚の化石（1億年前）

ブラジルで発見された魚の化石です。現在のイワシに近い種類です。



⑩ウミユリの化石（約4億年前）

ウミユリは植物ではなく、動物です。ウミシダやヒトデ、ウニの仲間です。



⑪サンゴの化石（4億～5億年前）

4億年以上前のサンゴです。内部構造が単純で、現在のサンゴと違います。



⑫水晶（すいしょう）[ブラジル]

セキエイという鉱物の結晶



⑬砂漠のバラ

サハラ砂漠で採集されたセッコウ（石膏）の集合結晶です。



⑭方解石の結晶

鉱山で採集された炭酸カルシウムの結晶です。

⑮縞状鉄鉱（オーストラリア）ストロマトライトが作った海水中の酸素と鉄が合体して海底に積もってできた。

